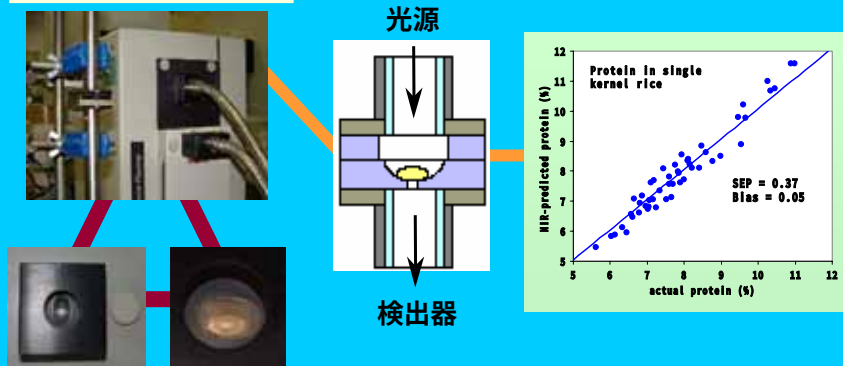


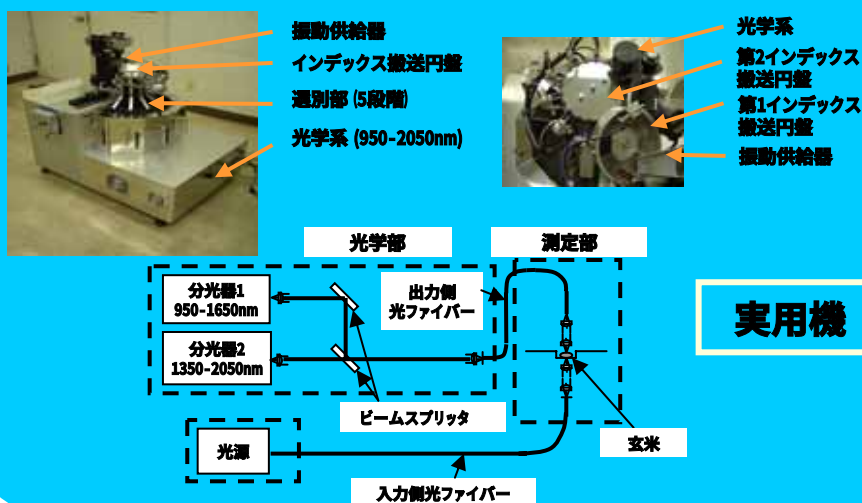
玄米一粒成分自動選別機の開発

育種の分野においては種子の成分による選別が主要な課題となっている。そこで、玄米一粒の化学成分を非破壊的に迅速測定し選別する装置の開発を行った。

研究用装置



技術移転



長波長域のスペクトルを用いた近赤外透過法により、玄米一粒のタンパク質を高い測定精度(SEP:0.43%)で、迅速(7粒/10秒)に測定でき、その値により玄米を一粒ずつ選別することが可能となった。

[静岡製機株式会社電子事業部と共同研究]



代表研究者: 河野 澄夫
所 属: 分析科学部 非破壊評価研究室

問い合わせ先: 研究交流科 関谷 修三
e-mail: atunisi@nfri.affrc.go.jp

独立行政法人
食品総合研究所